

2022年5月30日

神戸市建設局長
林 泰三 様

神戸市従業員労働組合下水道支部
支部長 北 哲也



2022年度現業・公企統一闘争要求書

貴局におかれましては、安全・安心な町づくり推進に尽力されていることに心から敬意を表します。また、私たちの労働条件や労働環境についても深いご理解を示されていることに感謝を申し上げます。

下水道事業は、社会に欠かせないエッセンシャルワークであり、止まることなく継続することが求められる事業です。近年、頻発している水害で、下水道施設の能力不足に起因した浸水被害も発生しています。下水道法と水防法の一部が改正され、気候変動を踏まえ下水道の浸水対策をハード・ソフト両面から強化する内容となっています。

政府は水害のみならず、大規模地震の発生リスク、さらにインフラの老朽化を踏まえ「防災・減災、国土強靱化のための五ヶ年加速化対策」を進めています。下水道においても浸水、地震、老朽化が対策の柱と位置付けられています。施設の老朽化は神戸市においても喫緊の課題だと思えます。国からの指導で能力以上の設備を設けることが出来ないと聞きますが、未曾有の水害に対し内水排除をするための能力は必要だと思えます。

神戸市は少数精鋭の名のもと、少人制の体制で努力してきましたが、合理的や委託でさらに職員数が減っているのが現状です。設備能力を上げられないのであれば、技術・能力でカバーしなければなりません。

今年度 2 名の新規採用があり、現場も活気づいています。今後も継続的に採用を行い、技術の継承が出来る環境を作り、将来にわたって下水道を円滑に管理し、安定した経営と健全な水循環を考えた長期的な展望が必要と考えています。

取り巻く状況は十分に理解するところではありますが、市民の安全・安心・安定した町づくりを推進するためにも、そこで働く労働者の労働条件改善に向けて、下記項目について速やかに善処されるよう要求いたします。

記

1. 公共サービスの充実を図るため、現業労働を直営で行うこと
2. 労働条件に関わる全ての問題については事前協議を遵守すること
3. 労働安全衛生活動を充実させること
4. 処理場における運転管理体制の確立のため、欠員の補充については速やかに正規職員で完全補充すること
5. 労務職員のさらなる処遇改善を図ること
6. 施設の老朽化対策を早急に行うこと
7. 雨天時侵入水対策計画の策定にあたり、運転管理においては処理場の実情も考慮し現場実態に即した改善を行うこと
8. 高齢者雇用対策については情報共有を図り、職員への混乱が生じないよう職員への周知に努めること
9. 上記の要求を速やかに実現するとともに誠意をもって文書回答すること

以上